

令和6年度 学校評価報告

草加市立新栄小学校
(令和7年2月20日作成)

1 学校教育目標 なかよく：豊かな人間性とコミュニケーション かしこく：学ぶ意欲と確かな学力 たくましく：心身の健康と体力 【目指す学校像】 一人ひとりの子どもが輝く学校	
2 重点目標・努力目標 <ul style="list-style-type: none">・確かな学力を育む教育の推進・豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進・体力向上・健康教育の継続・一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談の推進・安全で潤いのある教育環境づくり・地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進・学校事故の防止と教職員事故の根絶	3 前年度の成果と課題 成果 ○保護者の学校評価アンケートで多くの項目で高評価を得た。(19項目中13項目) 課題 ●働き方改革及び業務改善をさらに進め、教材研究、授業の充実から学力の向上につなげる。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○校務分掌は、教職員の資質や経験等を生かし、適切に組織活用がなされた。 ○学期ごとに学校経営の重点を確認し、重点を意識した教育活動を展開することができた。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○外部から指導者を招き、研究推進委員長を中心として、教職員が主体的な研修を進めることができた。 ○校内でも自主的に授業を公開し、授業力の向上を図ることができた。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○昨年度の反省を踏まえた保健、安全計画を立案し、円滑に実行することができた。 ○毎月の安全点検を確実に実施し、その都度修繕や補修を行い、安全な環境維持に努めることができた。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○個人情報の取り扱いについて、倫理確立委員会を中心に教職員全体に周知徹底を行った。 ●不要な備品や教材の精査を行い、管理のしやすい環境整備を行う。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○持久走大会や体育学習発表会などの各種行事の手伝いや新栄小まつり運営等、PTA活動が積極的に行われた。 ○学校運営協議会は、当初の計画通り、4回実施し、学校経営にご意見をいただくことができた。

⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	A	<p>○3学期に1年生と新栄保育園との交流会を行い、小学校入学の期待を高めた。</p> <p>○学校間でスムーズな接続となるよう校区の幼稚園・保育園や中学校等と情報交換を行った。</p>
--------------	---	---	---

(様式1・小学校用②)

		草加市立 小学校		
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保 	B	<p>○教育計画のもと、多くの教科において授業時数を十分に確保して学習指導を行うことができた。</p> <p>●教育活動の充実と教職員の働き方との両立を図りながら計画していく。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用 	A	<p>○外部人材を積極的に活用し、様々な体験活動を通して「本物」に触れることができた。</p> <p>○学級経営を核として指導力・授業力向上を図ることができた。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進 	B	<p>○授業研究会で、外部指導者を招いて指導、講義等を受け、実践力を養うことができた。</p> <p>●校内研修を活かし「考え、議論する道徳」の一層の充実を図る。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携 	A	<p>○指導計画に基づいて、児童が外国語に慣れ親しむことができた。</p> <p>○効果的にALTを活用し、児童の外国語活動への意欲向上を図ることができた。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動 	B	<p>○学校生活をより良いものにするための活動に、児童会や各学級で進んで取り組むことができた。</p> <p>●委員会活動やクラブ活動について、限られた時間の中で、より充実した活動となるように工夫していく。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用 	B	<p>○外部講師を招聘するなど、計画的に実施することができた。</p> <p>●指導内容の精選を行い、地域の人材をより活用できるようにする。</p>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携 	A	<p>○組織で発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導が適切に行われ、一丸となってよりよい人間関係を醸成してきた。</p> <p>○児童や家庭とSCやSSW、その他の外部機関を積極的につなぎ、組織で取り残さない体制を築いてきた。</p>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化 	B	<p>○キャリアパスポートの活用により、自身の変容や成長を自己評価することができた。</p> <p>●各教科等におけるキャリア教育の視点を意識した指導の一層の充実を図る。</p>

⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	B	<p>○特別支援教育コーディネーターが中心となって巡回相談等の外部機関との連携等を効果的に実施し、効果的な指導に向けた共通理解が図れた。</p> <p>●各種調査を生かし、児童の実態に応じた効果的な支援の充実・改善を行う。</p>
⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫 	A	<p>○より本や読書に親しんでもらえるよう、図書委員会を中心にアイデアを出し合い、さまざま取組を実践することができた。</p> <p>○保護者や地域のボランティアによる読み聞かせが定期的に行われ、子供たちは物語を身近に感じることができた。</p>
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	<p>○各教科において、タブレット端末を積極的に活用しながら効果的な授業を行うことができた。</p> <p>●保護者と連携を図りながら、携帯電話・スマートフォンの使い方を含め、児童の情報モラルの意識を向上させる。</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○人権作文、標語など学校全体で取り組むことができた。</p> <p>●各教科と関連させた全体計画の工夫改善を行い、学校全体で人権感覚の一層の育成を図る。</p>

(様式1・小学校用③)

草加市立新栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色 ある 学校 づくり	①食育	・多種多様な給食活動	A	<p>○昨年に続き、異学年の交流給食を行い、楽しく食事をする姿が見られた。</p> <p>○学校保健委員会では、民間企業から講師を招聘し、食をテーマとした講話を聞くことができた。</p>
	②安全安心・美のある学校	・安全で美しい環境整備	B	<p>○植栽ボランティアによる活動や新たに花壇を設置するなど、花の絶えない美のある学校になっている。</p> <p>●倒木による危険防止のため、古木の伐採が必要である。</p>

<p>5 総合評価 (学校関係者評価を含む)</p> <p>・保護者の学校評価アンケートでは、評価項目17項目中、7割以上の13項目で「できている」「だいたいできている」の高評価(90%以上)を得た。特に「相手を思いやる」「学習の約束を守る」「児童一人一人の気持ちの理解」「いじめ、不登校、暴力の根絶」「安全で安心な学習環境」「家庭との連携」の6項目で95%以上の家庭から高評価を得ている。</p> <p>・主体的・対話的で深い学びの視点から「草加の学びを支える授業の5か条」や自校の学力向上プランに基づく授業改善を日常的に行い、学校全体としての学力向上や教職員の指導力の向上につながっている。</p> <p>・児童一人一人に寄り添った支援を行うことで、落ち着いて学習できる児童も増えてきている。</p>

6 次年度の改善策

- 新栄小学習の約束について、次年度に学校だよりや学級懇談会等で積極的に発信していく。
- ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、関係機関との連携を密にして、組織的に対応していくことにより、問題行動やいじめの未然防止、早期発見、早期解決や不登校の解消につなげていく。
 - ・全教職員が心身ともに健康で持続可能な教育活動の実施のため、働き方改革を進めて行く必要がある。
 - ・タブレットの活用について研究を進めるとともに、情報モラル教育についても指導を進めていく。